



上小っ子

学びの成果を発表し自尊心を高める 授業参観・学年総会

1月28日(火)から学年ごとに授業参観を実施しました。今回の授業参観では、どの学年もこれまでに学習してきた成果が反映されています。本校は、学校経営方針として「一人一人のちがいを大切に協働すること」を掲げ、教職員は子どもたち一人一人の個性と意欲を大切に、友だち同士の様々な協力的活動も指導・支援しながら教育活動を進めてきました。さらに、一人一台パソコンを活用し、令和の日本型教育が目指す「個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実を図った授業づくり」の実現、さらにそれを支える「教師のあり方」を研究し、児童中心の授業づくりに取り組んできました。今回の授業参観では、どの学年の授業でも、大勢の保護者を前に緊張しながらも、一人一人が自分の学びの成果をがんばって発表する姿、仲間と協力して学びの成果を発表する姿がたくさん見られました。今回の授業参観がさらに子どもたち一人一人にとって自尊心を高める機会になったと思います。

また、その後の学年総会は、各学年のゴールに向けて、さらに進級・進学に向けて保護者の皆様と協力していくよい機会になったと思います。今後ともご支援・ご協力よろしくお願い申し上げます。



1年授業参観



2年授業参観



3年授業参観



4年授業参観



5年授業参観



6年授業参観

遊びを通して子ども同士の繋がりを深める！

遊びは、子どもの心の健康的な発達、さらに人間関係形成に欠かせないものです。本校では、子どもたちの自治的・自主的活動を育てる児童会活動で、学年間の親睦を深めることをねらいとして「あそびま週」を実施しています。遊びを通して学年を超えた人間関係づくりを行っています。1・5年生は2月3日(月)、3・6年生は2月4日(火)、2・4年生は2月7日(金)の中休みに、グループごとに遊びの時間を設定しました。どのグループも上級生が下級生と元気になくよく楽しく遊ぶために、遊びの計画を立てて実施しました。おにごっこやドッジボール等の外遊び、室内ゲーム等を計画し、上級生も下級生も元気になくよく遊ぶ姿が見られました。

異年齢での遊びをとおして仲間関係を広げ深めると共に、個々の児童の遊ぶ力、思いやる力、協力する力を育てる機会になっています。



元気・やる気・勇気を育む朝のあいさつ運動

児童会の重点活動である「け(元気・あいさつ)」をさらに充実させるために、2月10日(月)より1週間、朝の登校時間に児童会本部役員、4～6年生代表を中心に「あいさつ運動」に取り組んでいます。

あいさつ運動は、本年度4回目になります。今回の「あいさつ運動」では、全校の児童に自分から進んで行う元気なあいさつ(目を見て、先手、元気な声で)を働きかけています。あいさつが素敵な児童には星型の飾りを渡しています。朝のさわやかなあいさつから元気・やる気・勇気を育んでいます。



あいさつ運動

